

- 画像診断の技術は日々進化を遂げていますが、その技術を疾患の診療や健康の増進にどのように役立てていくのかを考えることが私たちの使命のひとつです。装置の高性能化によりさらに高画質な画像が撮影できるようになれば、あるいは新しい撮影方法が開発されれば、**これまで画像検査では診断が難しかった病態も評価できるようになる可能性があります。**

装置の高性能化

高画質な画像  
新しい撮影法

臨床への応用

新たな診断が可能に

- 当研究室では、**最新のCT装置やMRI装置の診断能の評価**を行っていくとともに、造影CTにおける細胞外容積分画 (extracellular volume fraction) やMRIにおける脂肪定量、 $R2^*$ 値、MRエラストグラフィによる肝線維化評価などの**定量データをもとにした病態解析や疾患発症のリスク分類**に関する研究を行っていきます。
- 現在の**臨床上の問題を解決するための研究**を行っていますので、大学院生の皆さんにもやりがいをもって研究に取り組んでもらえると思います。

